

私の生まれたこの村は、
ずっと昔から養蚕が盛んです

蚕の幼虫さんから糸を
もらって、それを紡ぐと
綺麗な絹になるのです

神さまのお世話係

この村で育つ蚕さんたちが
皆んな上質な糸を作るのは、
この村の神様、
小石様の御加護のおかげです

小石様はとても優しい神様で、
私たち人間の生活のために
そのお力を使ってくださります

私が七つになった頃、
小石様は私をお屋敷に
迎え入れて下さりました

それまでのことは
よく覚えていません

繭

ここでの私の仕事は
蚕さんを育てること

そして…

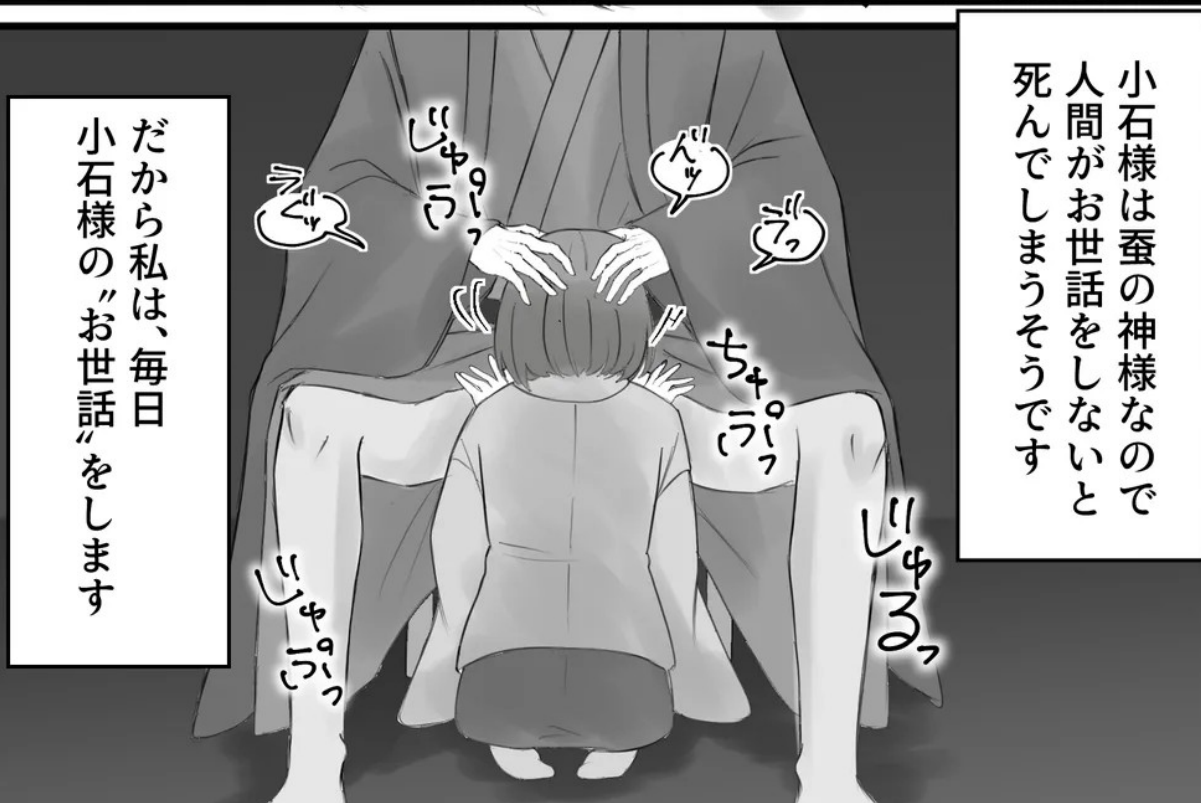
それが済んだら
私の部屋においで

は…はい

……これが一番
大事なお仕事

小石様の
“お世話”です





だから私は、毎日
小石様の「お世話」をします

小石様は蚕の神様なので
人間がお世話をしないと
死んでしまうそうです



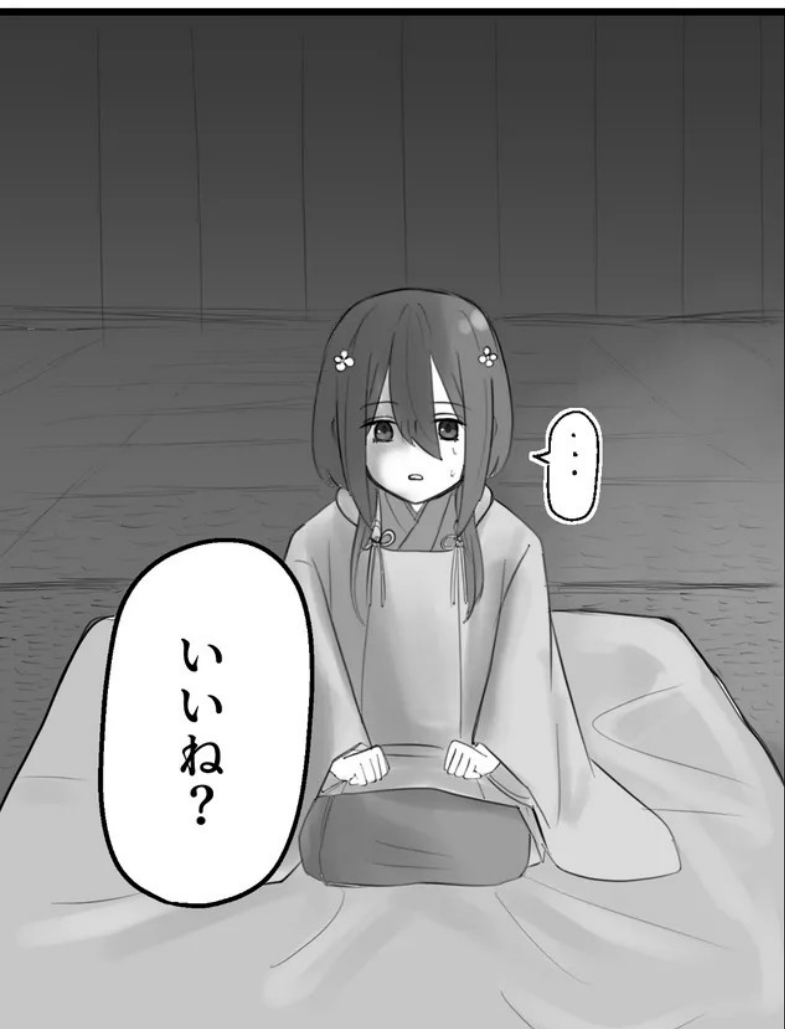
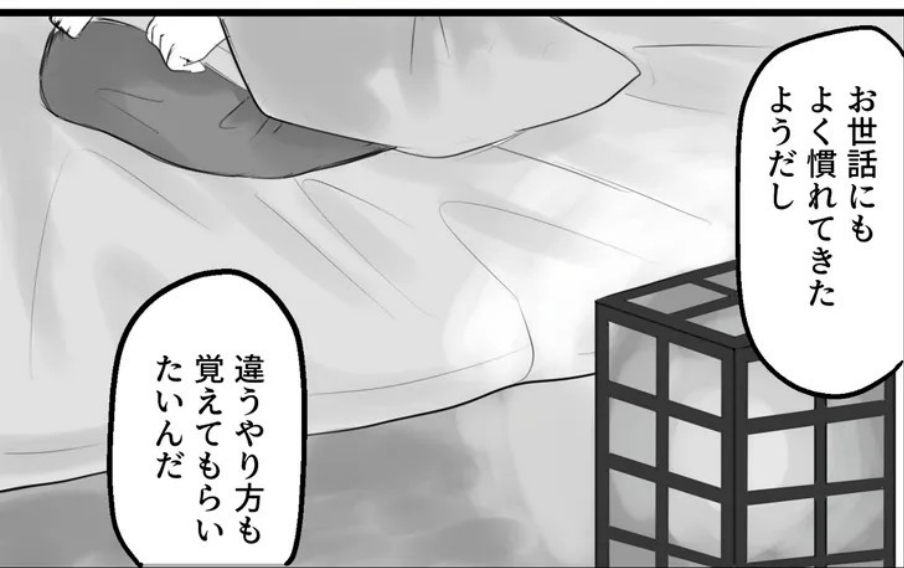
今日はもういいよ
下がりなさい

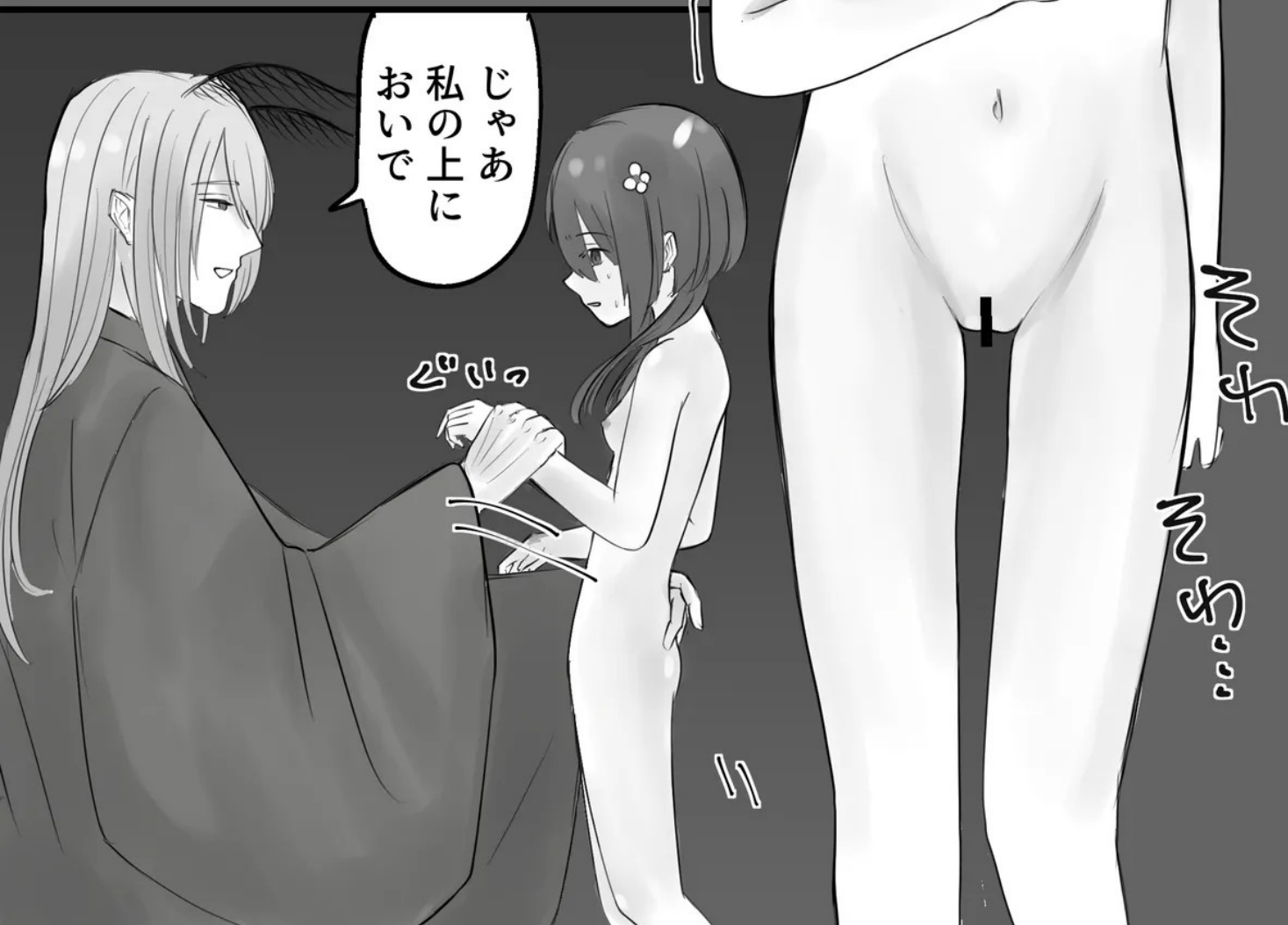
はい……

少し苦くて喉に絡みつく
この液体は、小石様から
のお恵みです

この液体を全部
飲み込むまでが
小石様の「お世話」です



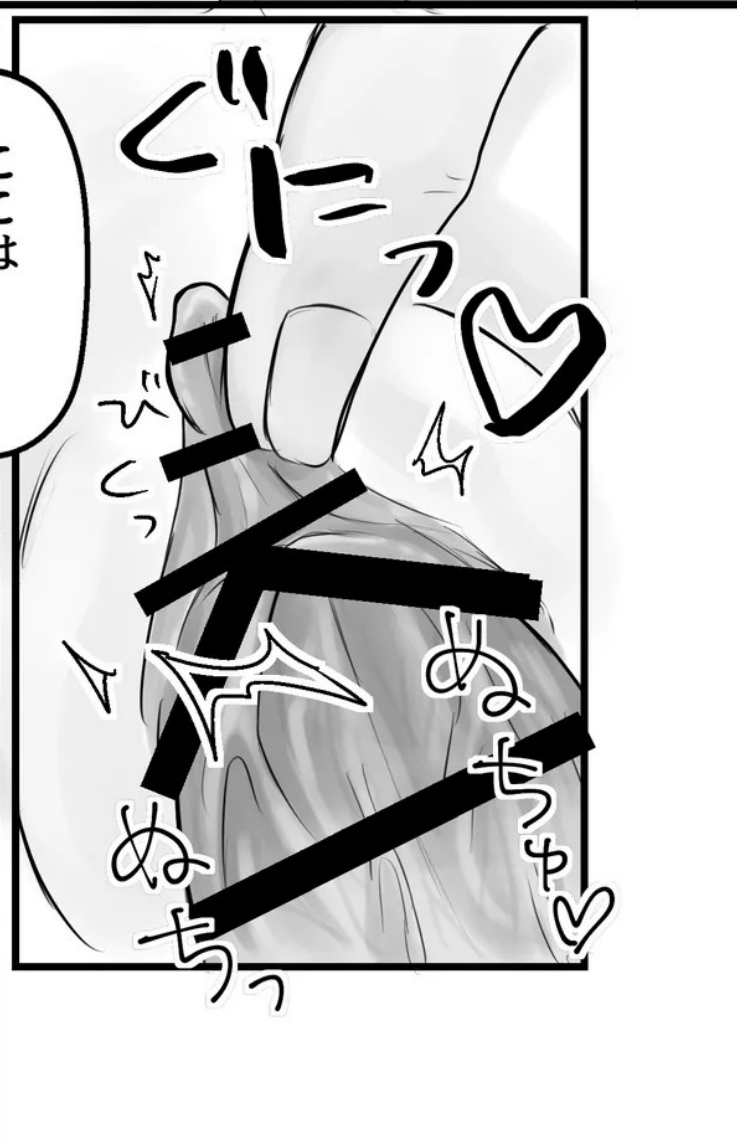
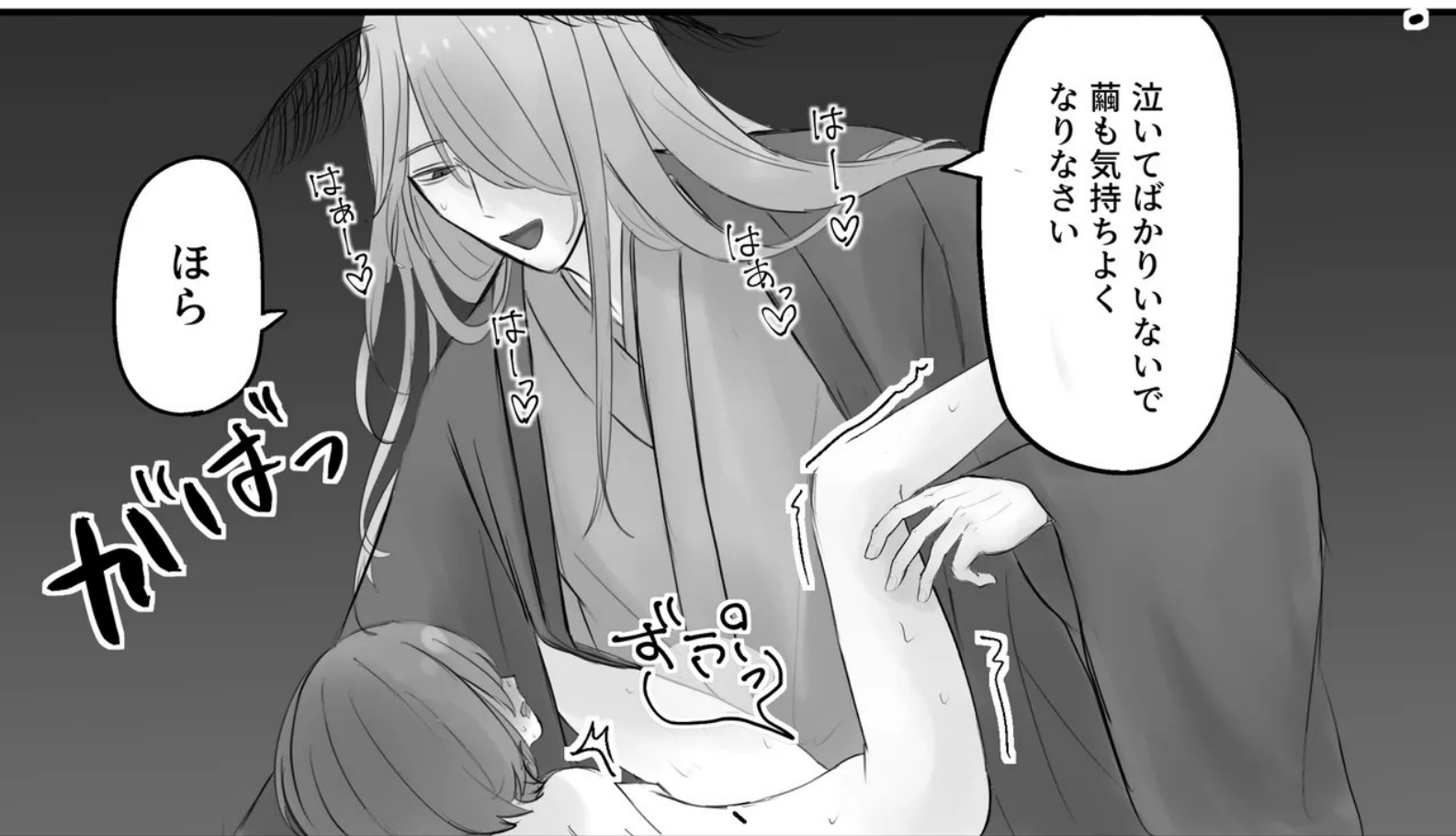


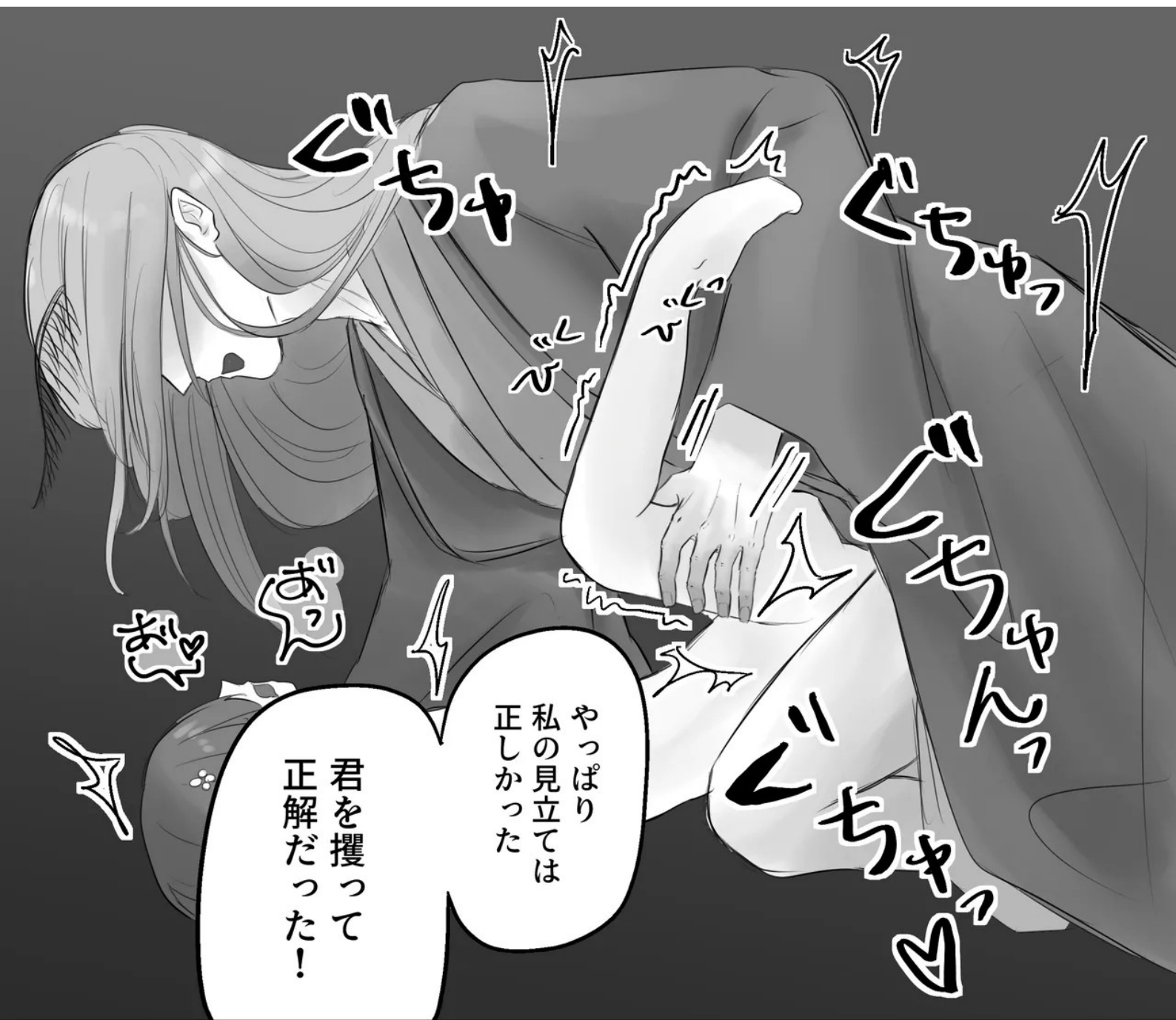














おっ

孕めっっ!!!

ああああ
出るっっ!!

おっ

おっ

びゅる

びゅ

びゅ





やっぱり
口だけよりも
気持ち良いね

少し激しく
しすぎたかも
しれないけど



小石様は蚕の神様なので
人間がお世話をしないと
死んでしまうそうです

まあいいか

明日からも
頼むよ



はい、
小石様

……神様がそう
仰るのですから、
人間の私は
従うしかありません